



人間教育の復興に向けて

学長 三浦 正



学校の役割には二つの側面があります。その一つは社会や国の養成に應える人間の育成であり、他の一つは古代ギリシャの学校が提示してきた人間教育です。前者の社会的・国家的要請に應えうる人間の育成を社会学的に規定される学校の役割とすれば、後者は理念的・哲学的に規定される学校の役割となります。学校教育の専門家たちは、前者を社会選抜機能とか分化的機能、後者を教育的機能とか統合的機能と呼んでいます。

今日の学校の現状をこの二つの側面からみると、分化的機能が統合的機能に優先していると言えます。大学教育にこの現象を限定してみると、大学は社会の要請に應え、必要とされる知識や技術を学生に習得させすぐに役立つ即戦力のある人材造りに懸命となっています。しかし、肝心の人間教育は後手に回っているという印象をぬぐいきれません。前者は教育の成果を即時評価できるものですが、後者は、それができません。人間教育はたぶん精神的・内面的成長に関わるものだからです。

今日、私たちを取り巻いている精神的環境に目を向けてみると、やはり、二つの面があるように思われます。一つは理性中心の科学主義への極端な傾きと、二つめは実証主義への過信です。前者は、すべてのことを客観的に、合理的にとらえ、ものごとを理解しようとする姿勢になります。後者は、人間の理性や感覚によって確認できることを真実の拠り所とする姿勢になります。この両者を総合したものが科学的実証主義となります。これは目先の実利(利益)、効用(使い道)や便宜(便利とか都合のよいこと)の追求を第一としています。ここでは生活の役に立つことが「善い、しかも価値のあること」になり、役に立たないことや、役に立たないものは「善くない、価値のないこと」になります。結局、目先の実利とか効用や便宜の追求は人の「こころ」とか「魂(こころの働きを司るもの)」それに関連する人間的な意味や価値の切り捨てにつながっていきます。

北陸学院短期大学は、このような学校の分化的機能優先の雰囲気と、今日の科学的実証主義への警告を發し、キリスト教精神に基づいて、大学教育に最も重要とされる「人間教育」の復興を図ろうとしています。

(みうら・まさし/教育哲学)

三浦 正(まさし)先生

1934年 秋田県生

拓殖大学教授、青山学院大学、東京神学大学、国立音楽大学、日本聖書神学校など講師として歴任。静岡英和学院大学初代学長を経て、本年4月本学学長に就任。

主な著書『日本人のニヒルと無』『新教育原理』『現代の教育の諸問題』ほか翻訳多数、専攻は教育哲学

また就任以来、同窓会名誉会長として同窓会に親しくかかわってくださっています。

元学長星野命先生と前学長大隅恵子先生に「名誉学長」の称号が贈られました。星野先生には3月11日の卒業証書授与式の席上で、大隅恵子先生には4月10日に短大学長室で名誉称号記が授与され、その席には来日中のヴァージニア・ディター先生も同席されました。



北陸学院短期大学は男女共学へ。

まずは2007年度、人間福祉学科からスタートします。

120年を超える伝統をもとに、今、新たな第一歩を。
北陸学院短期大学は、国際的な視野と教養を身に付けた真の社会人を、一人でも多く育てたいと願い、男女共学を実施します。

Realize Your Mission
あなたに使命を託します



同窓生の方々へ 久々のご挨拶



名誉学長 星野 命

同窓生の皆さん！ お久しぶりです。お元気ですか？さて、1990年4月から1998年3月まで、つまり8年間、短期大学の学長をしていた星野です。その間、附属幼稚園の園長を兼ねていた時期があり、保育科の学生には「精神衛生」（のちの「精神保健」）の授業や、卒業生の集まりである「とちの木会」の会合には欠かさず出席していました。

また、英語科や食物栄養科の授業も担当したり、教養科を含めた全科の記念行事では、卒業生の方々にお会いしていましたから憶えている方も多いでしょう。

ところが、学長職を定年退職してからの約8年間では附属幼稚園での、かつての園児たちを集めての夏の同窓会やクリスマスのお祝い会、そしてバザーなどの行事を除いては、短期大学の卒業式や諸行事に招かれることもなくすごしてきました。各科の同窓会の、合同前の「とちの木会」（当時は吉田若葉さんが会長でした）のバザーには招かれて、会場で、それ以前に永眠されていた番匠鐵雄前学長先生が揮毫されていた色紙を頒布して、その代金を先生からの賜物として寄付させてもらったことを憶えています。しかし合同後は、行事が行われても参加することはなく、すっかりご無沙汰しておりました。

このほど、思いがけないことに、（退職後8年たった）今年3月の短期大学第56回卒業式に際して、野坂学長先生が証書を卒業してゆく学生代表に渡したあと、井上良彦学長先生から私に直接「短期大学名誉学長」の称号記が授与されました。（同時に同称号が授与された大隅恵子前学長先生はご欠席で、後日来学された時に学長室で手渡されました。）

私にとっては、文字通り名誉であり、喜ばしいことでしたが、それに価するような業績や「天に宝を積む」仕事を果たしていたかどうか反省もうながされました。

話は2月に遡りますが、今は亡き番匠鐵雄先生の遺稿集「祈りの家の宮守として」を、私が刊行会の代表者となって出版し、4月にかけて学院の関係者・同窓会の方々に予約して下さった方に無料謹呈しました。この本は1995年1月11日に満97歳で天に召された先生の「ありし日の止み難い思いを再現してなつかしむ」と



いよりも、「ひとりの信仰者が百年に近い人生において咲かせた花々の色と生命に内側から光を当てる」という目的で、私が当初から胸にひそかに暖めていた計画で、学院の公的なお世話にならず、同窓会の小川和子さんと、山田郁子さんのご夫君邦彦さんと、シナジー出版社の白田さんと四人で資料の収集・編集をして、出版に漕ぎつけました。

去る5月6日の午後、三小牛の国際交流センターで出版記念会を学院主催で行って下さり、短大同窓会の森正栄会長様からお祝いのお言葉と金一封を頂きました。ここに心からの感謝を申し述べます。

なお、上記「遺稿集」は、400部刊行しましたが、既にほとんどを謹呈し残部がないので、是非お読みになりたい方は、短大同窓会室かヘッセル記念図書館に納めた分を閲覧して下さいようおすすめします。

(2006年5月14日)

導かれて今を



前短期大学長代行
前食物栄養学科長 野坂 一江

去る3月末をもって長く勤めさせて頂きました北陸学院短期大学を退職いたしました。今、いろいろなことが走馬灯のように次々と思い出されます。

特に恩師、故村上賢三先生から、母校で奉仕をしないかとの話をお伺いしたのが、その年の秋、長崎で開催されていた日本栄養改善学会に出席した時でした。私は何の迷いもなく、その約2ヶ月後には当時の校舎（知事公舎前）に勤め始めておりました。すべてが新鮮でしたが、わからない事も多いなか、三小牛キャンパスへの引っ越しが始まり、そして40年、この間にはいろいろなことがありました。なかでも私にとって最も大きな喜びは、諸先生方や多くの方々の祈りによって、信仰が与えられたことですが、当時学院での生活を重ねつつ、求めながらも、私にはなかなか決心できずにいたからです。しかし1979年春、1年生のジュニア・セミナーで、今は亡き番匠鐵雄先生が開会礼拝で、信仰は決断することであると話されましたことに、私の心は激しく揺さぶられたのです。そして翌年のイースターに受洗、主に従って生きる者と変えられました。しかし、み言葉から教えられ

るものの、その歩みは乏しく欠けの多い者には変わりありません。すなわち、聖書からは次のように教えられながらも、「み言葉を行う人になりなさい。自分を欺いて、聞くだけで終わる者になってはいけません（ヤコブ書1：22）」社会のため、人のためにも出来るだけのことをしなければならぬと教えられながら、ただ聞くだけで、なかなか実行に移すことの少ないことについて、幾度詫びたことでしょうか。人のためにしているつもりでも、いつのまにか自分のことを考え、報いを望んでいるのです。そんな傲慢さに日々許しを乞うことが多く、愚か者ですが、主に導かれ、支えられて歩むことが出来ましたことに改めて感謝を致しますとともに、ご指導ご鞭撻下さいました諸先生方は勿論、同窓の諸姉に心からの感謝を申し上げます。

野坂一江先生はこの春の叙勲で、長年栄養士会長として栄養改善普及事業に尽くされた功績により瑞宝小授章を受賞されました。

上本 多恵さん

2004年度卒業
人間福祉学科5回生

私が短大を卒業して、一年が経とうとしています。人間福祉学科を卒業し、介護福祉士として病院に勤めてから、沢山のことを学んだと思います。この仕事をして、幾度となく辛いことも体験しましたが、その分だけ患者さんの笑顔や「ありがとう」を聞くたびに癒されています。それがあってこそ介護の仕事が続けられるんだと思ってしまうほど、患者さんの言葉や表情は大きな力を持っていることを実感しています。毎日仕事へ行くのが楽しくて仕方がない。そういう風に思いながら仕事ができるのは、素敵なことだと思いますし、心にもゆとりができるのを感じています。これからは、思いやりの心を忘れず、自分の至らない所は努力して補っていきたいです。ですが、あまり根を詰めすぎず、上手にストレスを発散しなければと考えています。

橋場裕希子さん

1992年度卒業
教養学科24回生

卒業して13年が過ぎ、縁あって2005年度の1年間を短大で勤務させていただきました。

懐かしい教室や図書館が当時のままに残っていたことや、ご指導いただいた先生とは卒業以来の再会であるにも関わらず覚えていて下さった事に、とてもうれしく感動したのを覚えています。

陰ながら学生をサポートする事務の仕事を通して苦勞もありましたが、教職員の方々に支えられながらその志に触れ、人と関わりあう事のおもしろさ・大切さを改めて学びました。

2005年度は創立120周年を迎え、また、私の学んだ教養学科が卒業生を送り出す最後の年度でもあり、この節目に北陸学院で過ごさせていだいた経験は深く心に刻まれました。時代の流れと共に学院も変化し続けていく中で、卒業生にとって温かく迎えてくれる母校であり続けてほしいと願っています。

山森 悦子さん

1969年度卒業
英語学科5回生

早いもので60の年を数えるのもあと3年ばかりとなりました。いろいろなことがありましたが、ここ数年で一番嬉しかったことといえば、孫の誕生でした。日々成長する彼らを見ていると、老いゆく身にも希望がわいてくるから不思議です。子育て中は何かと悩み、迷いの連続でしたが、今はもうそれらから解放され、天使のような無垢な笑顔にきよめられているような幸せな気分です。

しかし、年々悪化する地球環境や、人の心の崩壊に、時に気持ちは暗くなります。愛する孫たちに住みよい世界を残すには、今何が私に出来るのか考えると、TVの電源をこまめに消すこと。今夏は団扇で暑さを取り除くこと。これで少しは温暖化にストップできるかしら？ では皆様ごきげんよう。

松本かおりさん

1991年度卒業
英語コミュニケーション学科27回生

3年振りの近況報告となりますが、さして変わりもありません。前回は、大学院修了後、大学病院での研修生生活を満喫しております！

といった内容だったかと思いますが、現在はその「研修生」肩書きも一応取れてしまい、非常勤でお世話になっていた内の1つ、単科の精神病院にて、晴れて「臨床心理士」としての常勤職に就いております（まだまだ駆け出しですけれどね、もちろん）。1つ処に少なくとも3年は、とはよく言ったものだなあというのが、遠い昔の会社員時代と同じ感想なのですが、今ようやくこの職場で4年目を迎えるにあたり、人の良い職員さん達（看護師・薬剤師・事務etc.）や優しい患者さん達とも打ち解けあい、笑いを共有しつつ、日々新たな出会いも得る事が出来る幸せや充実感、そして仕事のやりがい（奥の深さ）、といった事を実感しております…只、人間福祉学科卒業の金崎さんも第5号で書かれていましたが、ちょっと慣れてきたところが危ないんですよね…気が抜けちゃって。私も、次なる目標に近づいていく為にも、大隅先生が言われていた「change & challenge」の精神を忘れないようにしたいなと思う今日この頃です。

林 順子さん

1969年度卒業
食物栄養学科6回生

卒業時に希望どおり、総合病院の栄養士としてスタートを切ったのですが数年間の勤務の後、結婚退職で家庭に入ってしまった。その後転居などもありましたが子育ても一段落して、もう一度と思いつつも機

会のないまま今日に至っております。現在は地域の婦人会活動の中で、環境、教育、福祉での社会に於いて問題になっていることの学習を行っています。それぞれ考えた以上に深刻な状況になっていて驚いています。特に最近、若い世代の方に食のとり方で問題になっているメタボリック症候群が増えていることは栄養学を学んだ者として残念に思います。昨年はそれを題材とした学習会を同級生に依頼し、講師になっていただきました。特に現在の短大生の朝食の実態や食への意識などデータを交

えての講義はとても興味深いものでした。また、同級生の1人が研究者として母校で頑張っている事にもうれしく思いました。卒業して36年も過ぎて母校での楽しかった2年間の学生生活のことをあらためて思い出したり、職業人として関われなかったのは残念ですが、地域活動の中で仲間と学ぶ幸せを感じております。

川淵 映子さん

1969年度卒業
保育科19回生

1974年ベトナム戦争真ただ中、サイゴンで幼稚園の先生をし、次の年サイゴン陥落2週間前に帰国、今から30年前の話です。

10年前、その戦争が終って平和なベトナム観光に行き、大変ビックリさせられました。

子ども達が路上で着のみ着のままで寝ている姿をまのあたりにしました。主婦の私でも何か出来ないかと思ひ、蚤の市で古着や家庭内にある不用品を売って2001年ハノイの山奥の中学校を建てました。現在、小学校も建設中、又一昨年起きたスマトラ沖地震津波救済依頼が友人からあり、スリランカの幼稚園建設中。スリランカでは小学校就学前、幼稚園を卒業していないと小学校へ入学出来ないそうです。社会制度が整っていない国々がアジアでは沢山あります。これからはずっと支援しつづけていける保障は私にもないので、障害をもっているも自立に向けて支援できればと思ひ残りの人生、楽しみながらボランティア活動をしていこうと思っています。

同窓生-ing

母校で学んだことを活かして、
様々な場面で活躍されている
6人の方々をご紹介します。

栄光台をたずねて

■ コミュニティ文化学科

コミュニティ文化学科近況報告

学科長 澁谷 良穂

コミュニティ文化学科では今年95名の新生が入学し、2年目がスタートしました。今では1年生も少しずつ授業に慣れて、楽しい学生生活を送っているようです。また2年生は、短期大学での最後の年を迎えて幼稚園や中学校での教育実習を控え、専門教育科目の勉強や就職活動に意欲的に取り組んでいる毎日です。

本学科では、幅広い分野にわたる数多くの科目から自由に選択し、広く学ぶことも、深く学ぶこともできるようになっています。また、多くの資格が取得できるようにカリキュラムを組んでいます。学生のほとんどが複数の資格取得を希望しており、中には6つもの資格を目指

している学生もいて、学生生活を充実したものにしようと意気込みが感じられます。平均的には2つから3つの資格を取得しようとする学生が多いようです。学科では、2年間を有意義に過ごすために、複数の資格取得を学生に勧めています。来年3月には初めての卒業生が巣立っていきますが、これから県内を中心にさまざまな企業等への就職のほか、編入学、留学など幅広い進路が広がっています。

まだスタートしたばかりの新しい学科ですので、同窓会の皆様方の温かいご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。



■ 人間福祉学科

さらにステップアップを

人間福祉学科 助教授 義本 純子



新生が入学して大学生活に適應し始める頃、卒業生も何人かが訪れ、「大変であるがやりがいがある。」等とプラス志向で近況を報告してくれる。しかし、2000年の介護保険導入によりサービスを利用する対象も増加しニーズも多様化し、介護福祉士は常に不足がちであると聞いている。先年、「介護保険施設における介護福祉士のバーンアウトとストレス」について研究をまとめたが、ストレスが多くバーンアウトになりやすい結果がでている。入

所者の50～70%が認知症で、コミュニケーションの食い違いや伝えたい事が伝わらないことによるストレス、一生懸命に取り組んでも介護の成果が現れない等、「利用者とのコンフリクト」、「業務の過重」がその要因である。それにもめげず、卒業生が、リーダーシップをとり介護の質を高める重要な役割を果たしていると聞き、教育の重要性を感じる昨今である。また、2007年より社会福祉士受験に必要な指定科目を開設する予定である。(卒後2年の実務経験で受験可) さらにキャリアアップのため、今年よりケアマネージャーの受験対策講座、福祉住環境コーディネーター講座を実施するため準備中である。

■ 食物栄養学科

仕事に教えられること

食物栄養学科 実験実習助手 三田 陽子

私は調理実習や実験の助手をしています。調理室での仕事の1つに側溝の掃除があります。蓋をよけ、水面に溜まった汚れをすくい取り、壁をブラシでこすります。ゴミ受けの網カゴも取り出して洗います。黙々と掃除をしますが、すぐに次の汚れが浮いてきて、切りのないこともあります。

さて、側溝には1本の細い管が通っています。排水の汚れを分解する微生物入りの処理剤を入れる管のことです。成程、確かに汚れは溜まりますが、それでも数十名が一緒に調理していることを考えれば少ない気がします。臭いも腐敗というより発酵に近く意外と苦にならない

い(慣れた?)のです。何より週に1度蓋を持ち上げた時の状態は、色こそ違うけれど規則正しく泡立ち、沖縄で見た泡盛の発酵の様子に似ている！人間は、口に入るものだけでなく廃棄したもので、目に見えない程小さな生き物の恩恵を受けているのですね。

目に見える見えないを問わず、私達のいのちは沢山のいのちに養われていることを思います。それ程かけがえのないものだと、私はここでの仕事によく教えられ、その度に食の大切さや奥深さに感銘を受けます。また、そんな食にかかわることを目指して、栄光台で励む学生のお手伝いをしていることに、背筋が伸びる思いです。



■ 保育学科

変わるべきもの、変わらざるべきもの

保育学科長補佐 虹釜 和昭

2006年4月より新たに3名のスタッフが保育学科に加わり総計16名の専任スタッフとなりました。

少子化社会における保育士養成という社会的負担に代るべく、保育学科が大切にしてきたキリスト教に根ざした保育理念を基本に据え、実践に耐えうる保育者養成教育の充実を今年度も進めてまいります。

幼児教育、保育制度のパラダイムが大きく変わろうとしている今日この頃です。直接契約直接補助の流れ、認定こども園、育児保険、幼少の連携、教育保育の一体化、幼児教育無償化、幼稚園教育要領改訂、保育指針見直しなどの行政的課題があります。そして、保育の最前線で

は保育ニーズの変化、発達障害児や虐待対応などにかかる保育士のソーシャルワーク機能といった専門性の付与などの課題への取り組みが急務となっています。



保育学科としては変わらざるべき、キリスト教に基づいた伝統ある保育に加え、上記の新たな課題に対応しうる保育者養成を推進するとともに、卒業生のみなさまの実践経験をお聞かせいただきそれを学生の学びに反映したいと思っております。ぜひ、私ども保育学科までご意見などお聞かせいただくことを願っています。

かぜそよぐ初夏の三小川の丘より。

■ ヘッセル記念図書館

近況報告

図書館長 高島 涼子



図書館長になって2年目を迎えました。学生や教職員の皆さんに一冊でも多く本を読んでもらい、図書館を利用してもらえるようにいろいろ工夫しています。今年は新学期のオリエンテーションに特に力を入れ、各学科学年で行いました。また地域にも開放しています。

私個人としましては、ようやくアメリカ図書館協会から発行されました高齢者への図書館サービスガイドブックの翻訳を終えたところで、10年以上に渡って研究してきた高齢者への図書館サービスのあり方について、一つの提言ができることをうれしく思っています。日本における高齢者への図書館サービスは、活発とは言いがたく、しかも今後ますます求められるサービスです。

昨年に引き続き人間福祉学科長代理真砂先生との共同研究で、全国のケアハウスを対象に調査を実施し、高齢者の読書環境を把握し、高齢者の読書ニーズについて研究を進める計画であります。

クラブ紹介

バスケットボール部

監督 永山 亮一

(コミュニティ文化学科所属生涯スポーツ担当)

本学バスケットボール部は、現在2年10名、1年7名の17名で活動しております。2000年に私が本学教員として採用された時には、人数が集まった年には大会に出場するといった程度の活動状況でした。北信越学生バスケットボール連盟のランキングは最下位…4部からのスタートでした。その後、地道な選手達のがんばりにより、今年度の北信越春季リーグ戦では1部3位の成績を収めるまでに成長いたしました。今年度に関して言えば、北陸三県では4年制大学を含め、敵無しであると自負いたします。また、県内では一般・実業団チームも含めてのトップリーグである「石川県リーグ戦」に3年前に昇格し、強豪チームの胸をお借りしています。選手の中には石川県国体選抜チームに選出される者もおります。これらの好成績を収めさせていただいている背景には、選手達の努力はもとより、代々の学長を始め、教職員の皆様のご理解、ご声援があってこそと深く感謝しております。

さて、日頃の活動内容をご紹介しますと、通常は月火木金の週四日、3時間程度の練習を行っております。また、シーズン中には土日にゲームが入ることも多く、本学の歴史の中では珍しく本格的に活動を行っている部活動であると思われれます。

毎年5月のGWには「北信越学生春季リーグ戦」、5月末には大阪で開催される「西日本学生選手権」、6月には「北陸三県短期大学大会」「石川県学生選手権」、8月には東京で開催される「全国私立短期大学体育大会」、10月には「北信越学生選手権兼インカレ予選」と学生として参加できる大会には全て参加しております。また、7月～10月にかけて行われる「石川県リーグ戦」、「石川県総合選手権」など石川県協会主催の大会にも積極的に参加しております。全学からみれば一握りの学生達の活動ですが、それを見ることで学生全体がより元気に明るくなればと思ひ、選手共々がんばっております。



しかしながら、活動が活発になり、試合等遠征回数がかさむにつれ、部費・遠征経費の個人負担額が大きくなっているのが最近の悩みであります。学友会からの補助は頂いているものの、部員が多くなるに従い個人に対する補助率も低下し、負担額が増大しております。

同窓生の皆様方にも、スポーツにおいても優秀な成績を収めている学生がおりますことを知っていただき、是非ご声援・ご支援を頂けますよう、この場をお借りしてお願い申し上げます。

◇ 2006年度総会報告 ◇

2006年5月27日(土) 開催 於 レストランMEGU

好天に恵まれて、出席者71名(先生方・同窓生)により第6回総会が開催されました。



今年度は、食物栄養学科長、学長(代行)として長年教壇に立たれ、また同窓会名誉会長としてご指導いただいた野坂一江先生が3月に退職され、新学長三浦正先生をお迎えしました。

2007年度から人間福祉学科を皮切りに、短期大学にも男子学生を受け入れるなど大きな転換期に当たり、新学長として、三浦先生は今後の展望と決意を力強く語られました。私たち同窓生も母校の前途に希望を与えられるとともに、支える力になりたいとの思いを強くしました。

【総会次第】

- 礼拝
新学長紹介と挨拶
同窓会長挨拶
奨励 井上良彦学院長



【議事】

- 1 2005年度活動報告
2 2005年度決算報告
3 監査報告
4 役員選任と紹介
5 2006年度活動予定案審議
6 2006年度予算案審議
7 その他

◆懇親昼食会

各学科を代表する先生方により、現状と卒業生の動向などをお話いただきました。また同窓生の中から多数の方が教職員としてよい働きをしておられ、その方がたの紹介もされました。

2006年度 北陸学院短期大学同窓会役員名簿

Table with columns: 氏名, 卒業学科(假名), 職名. Lists names and titles of board members and officers.

【2005年度(2005.4.1~2006.3.31)活動報告】

- 2005.5.22(土) 第5回同窓会総会(北陸学院創立120周年記念)
2005.7.9(土) 同窓会会報『栄光台の薫風』第5号発行
2005.10.27(木) 同窓会賞授与式
2005.10.29(土) 北短祭 蚤の市開催
2005.12.10(土) 同窓会クリスマス礼拝
2006.3.13(土) 新会員入会式

【2006年度(2006.4.1~2007.3.31)活動予定】

- 2006.4.8(土) 役員会 新旧役員顔合わせ
2006.4.15(土) 役員・幹事会
2006.5.13(土) 役員会 総会準備
2006.5.22(月) 会報編集作業開始
2006.5.27(土) 2006年度総会 於 レストランMEGU
2006.7.14(土) 同窓会会報『栄光台の薫風』第6号発行日
2006.7.22(土) 同窓会会報発送作業
2006.11.2(木) 同窓会賞授与(北短祭)
2006.12.16(土) 同窓会クリスマス礼拝
2007.3.19(月) 同窓会入会式
2007.3.20(火) 短期大学卒業式

2005年度 北陸学院短期大学同窓会 収支決算報告書

一般会計 自:2005年4月1日~至:2006年3月31日 (単位:円)

Income Statement Table for 2005 fiscal year. Columns: 科目, 2005年度予算額, 2005年度決算額, 備考.

*その他財産目録 期首(2005.4.1) 期末(2006.3.31)
定期預金 ¥18,717,096 ¥15,720,572
定額貯金 ¥10,000,000 ¥10,000,000

【支出の部】

Expenditure Statement Table for 2005 fiscal year. Columns: 科目, 2005年度予算額, 2005年度決算額, 備考.

特別会計(奨学援助資金)

【収入の部】

Income Statement Table for Special Account (Scholarship Assistance).

【支出の部】

Expenditure Statement Table for Special Account (Scholarship Assistance).

上記決算は適正且つ正確に行われたことを認めます。 2005年6月15日

監査 須賀 葉子
監査 高島 涼子

2006年度 北陸学院短期大学同窓会 収支予算

一般会計 自:2006年4月1日~至:2007年3月31日 (単位:円)

Income Statement Table for 2006 fiscal year. Columns: 科目, 2005年度予算額, 2006年度決算額, 備考.

【支出の部】

Expenditure Statement Table for 2006 fiscal year. Columns: 科目, 2005年度予算額, 2006年度決算額, 備考.

特別会計(奨学援助資金)

【収入の部】

Income Statement Table for Special Account (Scholarship Assistance).

【支出の部】

Expenditure Statement Table for Special Account (Scholarship Assistance).



CLICK! 短大通信



Open House'06 開催カレンダー'06

	6月	7月	8月	9月	11月	12月
体験会 目標に向かって一直線！ 北陸学院短大の授業を体験しよう 各学科の特徴が分かる模擬授業や体験ツアーを実践。 それぞれの目標へとつながる学びを体験できます。		15(土) 13:00～16:00 17(月・祝) 9:30～15:00	5(土) 9:30～15:00 7(月) 9:30～15:00	18(月・祝) 9:30～15:00		9(土) 13:00～16:00
見学会 ひと足早く短大生気分！？ キャンパスライフを実感しよう キャンパス施設を見学したり、先輩の体験談を聞いたり、北陸学院ライフをイメージできます。	17(土) 13:00～16:00		12(土) 13:00～15:00	2(土) 13:00～15:00		
相談会 入試やキャンパスライフのこと、何でも気軽に聞いてみよう 相談コーナーを開設。入試や資格、サークルなど、何でも気軽に聞くことができるチャンスです。					3(金・祝) 10:00～15:00	

日程によって内容は異なります。詳しい情報は、北陸学院短期大学ホームページまで <http://www.hokurikugakuin.ac.jp>

【お問い合わせ先】 北陸学院短期大学 入試広報課 〒920-1396 金沢市三小牛町E11番地
 TEL&FAX 076-280-3855 E-mail nyushi@hokurikugakuin.ac.jp

「介護支援専門員実務研修受講試験」対策講座

- 日 時：7/22(土)・7/29(土)・8/6(日)・8/19(土)
(すべて13:30～17:00)
- 場 所：本学 人間福祉学科棟 3階 演習室
(但し8/19は、別教室とする)
- 対 象 者：人間福祉学科卒業生及び本学関係者で介護福祉士資格保持者
- 使用テキスト：長寿社会開発センター「介護支援専門員基本テキスト」
7350円 2006年6月末に改訂版発行
注) テキストについては、受講生がご持参下さい
- 参加費用：500円
- 申 込 先：人間福祉学科実習準備室

キリスト教保育に関する講演会

保育学科と短期大学附属幼児児童教育研究所では、キリスト教保育に関する講演会の開催を以下のように計画しております。みなさまお誘い合わせの上、ぜひご参加ください。
 日 時：2007年3月3日(土) 14:00～16:00
 場 所：野々市文化会館フォルテ
 講 師：長山篤子氏(キリスト教保育連盟会長、聖学院大学特任講師)
 テーマ：「キリスト教保育における子どもの育ち」
 会 費：未定

管理栄養士国家試験受験準備講習会

下記のように管理栄養士国家試験受験準備講習会を計画しております。日程等の詳細は10月1日以降の本学ホームページに掲載いたしますのでご覧下さい。また、電話による問い合わせにも応じます。
 開催日程：2006年11月中旬～2007年2月末の土曜日午後
 場 所：北陸学院高等学校(金沢市飛梅町)の予定
 参加費用：受講料は無料ですが、教材費は必要です。
 受講資格：本学卒業生

第20回管理栄養士国家試験結果が5月10日に発表されました。本学同窓生が健闘し、石川県内養成施設3校の合格者の内過半数を占め、合格率においてもトップでした。(栄養士養成施設卒業者の全国平均合格率の約2倍)同窓の皆様で受験資格をお持ちの方もこれに続くよう頑張らしましょう。

保育学科の同窓生のみなさま 〈卒業研究をお返しします〉

保育学科では、卒業生のみなさまが書かれた卒業研究を保管しておりますが、保管場所等の都合により、みなさまに返却させていただくことになりました。つきましては、期日までに短期大学へお越しくださいますよう、よろしくお願いいたします。

- 返却のための保管場所は、短期大学ライザー館2階 同窓会室横となります。
- 卒業研究は、大まかに年代順に並べて保管しておりますので、そこからご自分のものをお探しいただき、お持ち帰りください。
- 来学が困難な方がいらっしゃるかと思いますので、お声をかけあって来学可能な方がご友人のものも取りに来られるなど、ご配慮いただければ幸いです。
- 連名で書かれたものの所有権につきましては、書かれたみなさままでご相談ください。
- 保管期限は2006年12月22日(金)までとなります。
- 保管期以降は、保管の継続が困難となりますが、ご理解のほどお願い申し上げます。

ご来学の際は、保育学科教材室(本館2階)へぜひお立ち寄りください。みなさまのお越しを心よりお待ちしております。

2006年6月1日 保育学科科長 三浦 正

【教職員の異動】

退職

学長代行・食物栄養学科長 野坂 一江 教 授
 保育学科長 笠間 清 教 授
 保育学科 日高 義質 教 授
 コミュニティ文化学科 S.J.ゲイツ 講 師

新任

学長・保育学科長 三浦 正 教 授
 保育学科 虹釜 和昭 助教授
 保育学科 福井 逸子 講 師
 保育学科 柳澤亜希子 講 師

同窓会よりのお知らせ

【蚤の市中止】

例年秋の北短祭に合わせて開催してきました蚤の市は、小学校校舎改修により、ライザー記念館を教室として使用するため、今年度は開催出来なくなりました。その旨同窓生の皆様に周知していただき、次年度にはまたご協力をお願いします。

なお、蚤の市は行われませんが、北短祭の一般公開にあわせて下記のように同窓会コーナーを設けますのでお問い合わせ下さい。

日時：2006年11月3日(金祝)・4日(土)

10:00～15:00

場所：北陸学院短期大学

同窓会奨学金の充実拡大に更なるご協力を！

北陸学院は、来年度から短期大学も人間福祉学科を皮切りに、男女共学とすることになりました。諸情勢の厳しい中において、社会のニーズと短期大学の存続、更なる発展のための大きな改革に際し、私たち同窓生も何らかの寄与をしたいと、役員会では会員の皆様のご意見も聞きつつ考えて参りました。

時期を同じくして、短期大学側より、活躍を広げ、また好成績も挙げつつある学生のクラブ活動に対する援助の要請がありました。

同窓会では2004年度より、「短期大学同窓会奨学金」制度を設け、その資金として「蚤の市」の収益金、クリスマス礼拝献金に加えて、奨学金献金のために皆様のご協力をいただいています。そこでこの資金の対象を拡大して、奨学金に加えて学生のクラブ活動にもいささかの援助費を提供することにご賛同いただきたいと存じます。

今年は恒例の「蚤の市」が開催できませんが、例年のように郵便振替票を同封させていただきます。同窓生各位には、何とぞ趣旨をご理解くださりご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

一 感 謝

奨学援助資金のための献金をお寄せいただいた方々 (2005年7月～2006年3月)

櫻田 敏子 (保育 1)	桐本真智子 (保育 10)	大浦 桂子 (保育 26)	小泉 みな (栄専 3)	宮城 香子 (食栄 3)	光谷 慶子 (食栄 7)	宮川 秀子 (英語 13)
秋山 星子 (保育 1)	三和 雅子 (保育 10)	永野 明子 (保育 26)	渋谷 陽子 (栄専 3)	久世 睦子 (食栄 3)	新宅きよみ (食栄 7)	神戸 敏恵 (英語 14)
飯田 美子 (保育 1)	東野 律子 (保育 11)	佐藤千賀子 (保育 26)	武田 律子 (栄専 3)	岡田 俊子 (食栄 3)	柿本 正子 (食栄 8)	澤出英利子 (英語 17)
鈴木 鏡子 (保育 2)	茶幡 昌子 (保育 12)	田辺 節子 (保育 27)	水口まり子 (栄専 4)	小橋 雅子 (食栄 3)	9回生一同 (食栄 9)	松本 淑子 (英語 18)
高森 敏子 (保育 2)	大隈 弘子 (保育 12)	東川由利子 (保育 27)	田地マリ子 (栄専 5)	山本 和子 (食栄 3)	三井 悦子 (食栄 9)	野本 浩子 (英語 20)
寺井 治子 (保育 2)	勝見 倫子 (保育 13)	柴田由紀恵 (保育 27)	綿谷 輝子 (栄専 5)	山下 千代 (食栄 4)	山崎紀美子 (食栄 9)	桜井久美子 (英語 20)
今成 邦子 (保育 3)	伊藤 総子 (保育 13)	藤原 智子 (保育 28)	高城 弘子 (栄専 6)	渡辺 栄子 (食栄 4)	飯田 晴栄 (食栄 11)	水野かおり (英語 23)
鈴木 優子 (保育 3)	北村 靖子 (保育 13)	鈴木まどか (保育 29)	中村 祥子 (栄専 6)	地引 庸子 (食栄 4)	荒木真佐美 (食栄 12)	今川 朋子 (英語 31)
久保 澄子 (保育 3)	松本 征子 (保育 13)	新谷 裕美 (保育 30)	大原 悦子 (栄専 8)	小杉 直子 (食栄 4)	中村 正子 (食栄 13)	村中美枝子 (英語 39)
大窪 博子 (保育 4)	小林 聡子 (保育 15)	家本 美紀 (保育 31)	西出 朝子 (栄専 8)	田中 裕子 (食栄 4)	長井 直子 (食栄 16)	横山 康子 (教養 1)
斉藤 千代 (保育 4)	須加二葉子 (保育 16)	新保 和子 (保育 35)	有澤 郁子 (栄専 9)	斉藤美智子 (食栄 4)	亀ヶ谷昭子 (食栄 17)	荒木美保子 (教養 3)
森 正栄 (保育 4)	小林 漢子 (保育 17)	勇 智子 (保育 38)	隆 文子 (栄専 9)	石井和佳子 (食栄 4)	有沢麻衣子 (食栄 39)	斉藤恵美子 (教養 9)
小川 和子 (保育 4)	石田みどり (保育 18)	新保 直美 (保育 40)	山下藤里子 (栄専 10)	浜田 孝子 (食栄 4)	熊田 彰子 (英語 1)	寺口 良美 (教養 11)
神澤みな子 (保育 5)	福尾 明子 (保育 18)	三浦 みほ (保育 43)	前島 節子 (栄専 10)	高井 明子 (食栄 4)	若狭美智子 (英語 2)	山田 昭美 (教養 13)
山敷 紀子 (保育 6)	川畑紀代美 (保育 18)	川北 恵美 (保育 46)	竹内 恵子 (栄専 10)	北 茂美 (食栄 4)	山田 昭子 (英語 2)	飯野 昌子 (教養 13)
茶谷 禎子 (保育 6)	今川 節子 (保育 18)	山田 敏子 (保育 48)	近岡 美由 (食栄 1)	三井恵美子 (食栄 4)	川端 昭子 (英語 2)	高井 章子 (教養 14)
小坂千栄子 (保育 6)	大里 幸子 (保育 18)	船本 晴代 (保育 51)	北川 郁子 (食栄 1)	伊禮 房子 (食栄 4)	水永 和子 (英語 2)	村田 裕子 (教養 21)
若宮喜美子 (保育 6)	佐久間孝子 (保育 19)	山本 実奈 (保育 53)	木村 順子 (食栄 1)	三井 玲子 (食栄 4)	高橋富久子 (英語 4)	山崎友紀恵 (教養 25)
加藤美奈子 (保育 6)	佐野由加利 (保育 19)	瀬川 妙子 (保育 19)	山本 幸子 (食栄 1)	久木 嘉子 (食栄 4)	七尾 清恵 (英語 4)	永井 英理 (教養 29)
野村 昭子 (保育 7)	寺島真知子 (保育 19)	毛利美枝子 (栄専 1)	北山 光栄 (食栄 1)	金子 量子 (食栄 4)	西田 修子 (英語 7)	安念知久早 (教養 35)
中山佐智子 (保育 8)	土井千枝子 (保育 19)	住 豊子 (栄専 2)	高田 豊子 (食栄 2)	島田 晴美 (食栄 5)	野坂 裕子 (英語 7)	玉川 雅子 (福祉 1)
牧野 弘美 (保育 8)	川北 喜美 (保育 20)	野村 幸子 (保育 2)	亀田 志伸 (食栄 2)	長井 素子 (食栄 5)	上田 優子 (英語 8)	山森様
鍛島 和世 (保育 8)	大房 和子 (保育 22)	加藤千鶴子 (栄専 2)	関 智恵 (食栄 2)	草開 和子 (食栄 5)	奥野 道子 (英語 8)	
中村 節子 (保育 8)	荻原 英子 (保育 23)	久我ももよ (栄専 2)	綿谷 信子 (食栄 2)	高村 百代 (食栄 6)	野坂佐知子 (英語 8)	ご芳名もれがあり
石田満寿美 (保育 9)	辻川 恵子 (保育 24)	南 芳枝 (栄専 2)	森井由美子 (食栄 3)	新澤 祥恵 (食栄 6)	市村ゆかり (英語 11)	ましたら事務局へ
田上 徳子 (保育 9)	斎藤 由子 (保育 25)	竹田 佳子 (栄専 2)	北門 善枝 (食栄 3)	久家三重子 (食栄 6)	藤田 幸子 (英語 12)	お知らせ下さい。
森 みどり (保育 9)	宮下 京子 (保育 25)	間口まさ子 (栄専 2)	吉田 清子 (食栄 3)	山田 潤子 (食栄 7)	荒木 祐子 (英語 13)	

計 184名 総額 860,370円

クリスマス礼拝

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

日時

2006年12月16日(土)

午後1:30～(受付1:00～)

場所

三小牛キャンパス内
番匠鐵雄
記念礼拝堂



礼拝後に国際交流研修センターでクリスマスカード作りを計画しています。
(実費500円程度ご負担下さい)
共にイエスさまのお誕生日を覚え「喜びと感謝のひととき」を過ごしたいと思えます。
皆様のご参加をお待ちいたしております。

同窓会事務局より

同窓会の活動に関するご質問・ご要望・ご提案などがございましたら、どんなことでも同窓会事務局までお寄せください。

- ◇開室日：毎週月曜日、水曜日、金曜日
- ◇開室時間：午前9時～16時
- ◇事務担当者：黒杉 茂子

【住所等変更のご連絡について】

①氏名(旧姓) ②卒業学科名、年度 ③住所 ④電話
を明記の上、書面、ファックス、メールのどれかでご連絡ください。
お電話でのご連絡は受付かねますので、ご協力のほどよろしくお願い
します。
町村合併に関する住所変更については、県内に関しては追いつ追いつ更新
しておりますが、県外に関しては、なかなか手が回らない面もありますので、
お気づきの点ございましたら、ご一報お願いします。

※会員名簿については個人情報保護法にもとづき、事務局で責任をもって
管理しております。

■編集後記 同窓会報「栄光台の薫風 第6号」の発行にあたり、ご寄稿下さった先生方、同窓の方々はじめご協力下さった多くの皆様に、心よりお礼申し上げます。今年度、新学長に三浦 正先生をお迎えし、また来年度には「男女共学」となり、学院の長い歴史に新しい1ページを刻もうとしています。私達も卒業生の一人として、新しいことに挑戦する勇気を持ち続けたいと思っています。学院と同窓の皆様方の、これからの益々のご繁栄をお祈りいたします。

2006年7月14日発行

発行：北陸学院短期大学同窓会

〒920-1396 金沢市三小牛町イ11番地

ライザー記念館内

TEL/FAX 076-280-3830

E-mail/jcog@hokurikugakuin.ac.jp

印刷：活文堂印刷株式会社